

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号: 0217-1807, サービス名称: HOTクラウド, 事業者名称: 北都システム株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
1	開示情報の時点	開示情報の日付	必須	2020/5/26	
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	必須	北都システム株式会社	
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	1994年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		23年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	〒004-0052 北海道札幌市厚別区厚別中央2条3丁目5番11号
	事業所数(国内、国外)		5(札幌、東京、新横浜、名古屋、大阪)		
	主な事業所の所在地		北海道札幌市		
5	事業の概要	主な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	パッケージソフトの開発・販売/クラウドサービス事業 システム開発事業	
- 人材					
6	経営者	代表者氏名	必須	高橋 直樹	
		代表者写真	選択		
		代表者年齢			
		代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)			
7	役員	役員数	選択	4	
		役員氏名及び役職名			
8	従業員	従業員数	選択	205	
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	必須	¥1,911,523,859(令和1年9月期)	
10		経常利益	選択		
11		資本金	必須	¥70,000,000	
12		自己資本比率	選択		
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	選択		
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	選択		
15	財務信頼性	上場の有無	選択	無し	
16		財務監査・財務データの状況	選択	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0217-1807, サービス名称: HOTクラウド, 事業者名称: 北都システム株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
17	決算公告	決算公告の実施の有無	選択		
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係 株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択		
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○	情報セキュリティ基本方針 ISMSマニュアル 個人情報保護方針 個人情報取扱規程
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択	無し
	上記の文書類の経営陣による承認の有無		無し		
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	HOT Series 顧客相談対応マニュアル	
		上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り	
- サービス基本特性					
27	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	HOTクラウド	
28	サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2009/4/8	
		サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		有り 2015/12/1 「HOT Works」のサービス名称を「店舗Linkle」に変更 2018/10/1 「E-Kau」をリリース 2018/12/1 「Motenashi+」をリリース	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0217-1807, サービス名称: HOTクラウド, 事業者名称: 北都システム株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
29	サービス内容	サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス
30		サービスの内容・範囲	必須	<p>「HOTクラウド」はコミュニケーションを活性化し、情報共有の効率化を図るクラウドサービスです。情報共有でお悩みの企業様へ、業種業態や利用規模を問わず、ご利用いただくことができます。</p> <p>「HOTクラウド」は以下のサービスから構成されています。</p> <p>【店舗Linkle】チェーンストアやフランチャイズなど多店舗展開をしている企業様に最適な店舗業務支援システム</p> <p>【HOT Knowledge】ノウハウや各種情報の共有を活性化するため、見やすさと使いやすさを軸に情報共有のあり方を追求した”使える”ナレッジマネジメントシステム”</p> <p>【HOT Talk】メールやチャットに変わる社内SNS: 次世代コミュニケーションツール</p> <p>【HOT Scheduler】マウスドラッグで線を引くだけ！の簡単Web型スケジュール共有システム</p> <p>【HOT Reserve】マウスドラッグで線を引くだけ！の簡単Web型予約管理システム</p> <p>【E-Kau】多店舗チェーン業態向け本部・店舗間 Web受発注システム</p> <p>【Motenashi+】旅館、ホテルなどの宿泊業向けスタッフ間の情報共有システム</p>
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合わせて500字以内で記述>		有り ・リコージャパン: カンタン文書活用を用いたMFPIによる文書データ連携。 ・NECプラットフォームズ: POSソリューションによる販売データ連携。
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	お客様よりご要望のあった際にはご相談の上、柔軟に対応させていただきます。
32	サービスの 変更・終了	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	必須○	1ヶ月前 電子メール、又は当社ホームページ
33		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	無し 無し 無し
34		サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	必須○	有り: HOT Seriesお問い合わせ窓口 受付時間: 9時~18時(土日祝日および当社休業日を除く)
35		課金方法	必須	ID数/店舗数×アプリケーション利用料で算出 基本機能は無し オプションは有り
36	サービス料金	初期費用額	必須	基本機能は無し オプションは有り
		月額利用額		【店舗Linkle】店舗数×アプリケーション利用料(3,000円) 【HOT Knowledge】ID数×アプリケーション利用料(500円) 【HOT Talk】ID数×アプリケーション利用料(200円) 【HOT Scheduler】アプリケーション利用料(100ID毎10,000円) 【HOT Reserve】アプリケーション利用料(100ID毎10,000円) 【E-Kau】店舗数×アプリケーション利用料(2,000円) 【Motenashi+】端末数×アプリケーション利用料(2,000円) +オプション料金
		最低利用契約期間		1年間(以降1年間の自動更新)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0217-1807, サービス名称: HOTクラウド, 事業者名称: 北都システム株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
37		解約時ペナルティ	必須	有り 契約期間満了日までの利用料
38		利用者からの解約事前受付期限	必須	有り 契約期間満了月15日まで
39		サービス稼働設定値	必須	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン3 対策参照値95%以上
		サービス停止の事故歴		2019年4月1日～2020年3月31日 事故歴: laaS障害1件
40		サービスパフォーマンスの管理	選択	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		監視ソフトウェアによる監視 検知場所: 監視ソフト稼働サーバ 検知インターバル: 5分 検知方法: サービスURLの応答時間測定
41		サービスパフォーマンスの増強	選択	監視ソフトウェアによる監視測定値にて一定値を超過する状態が継続的に予測される場合、またはサーバへの収容ID数にて判断
42	サービス品質	認証取得・監査実施	選択	ISO/IEC 27001:2013 (登録番号: JQA-IM0982)
43		個人情報の取扱い	必須	個人情報利用の目的を利用規定に明記し、必要範囲内で個人情報を取り扱うことに対して、利用者の合意を得た上でサービス開始の手続きを行っている。
44		脆弱性診断	選択	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		アプリケーション、ミドルウェア 診断頻度: 年1回、もしくはサーバ増設時 対応状況: 特に対応無し
45		バックアップ対策	必須	1日1回
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	直近7世代 ※オプション契約にて28世代
46		バックアップ管理	選択	
47		受賞・表彰歴	選択	無し
48		SLA (サービスレベル・アグリーメント)	必須	SLO有り
49	サービス利用量	利用者数	選択	契約企業数: 151社
50		代理店数	選択	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号: 0217-1807, サービス名称: HOTクラウド, 事業者名称: 北都システム株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	主要ソフトウェアの名称	必須	店舗Linkle
			主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	多店舗企業において本部と店舗間で発信される情報を集約するクラウドサービス。「本部店舗間における情報伝達の一元化」、「店舗業務負荷の低減と指示徹底率の向上」、「VMDIによる売り場改善」などの店舗業務改善を、PDCAサイクルにより実現。画像を用いたコミュニケーションにより誰でも使いやすい操作性が特徴。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	北都システム株式会社(申請者に同じ)
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	使用していない
			標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	監視対象: プラットフォーム、アプリケーション 監視インターバル: 5分
			障害時の利用者への通知時間		サービス提供に関わる障害時: 原則1時間以内(営業時間内)
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有り
56		時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	NTP
57		ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	有り ベンダーリリースより4時間以内
58		記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	有り アプリケーションログ、セキュリティログ、システムログ、Webアクセスログを1年間以上保存
59		セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	計画メンテナンス時(毎月第4水曜日早朝)
- ネットワーク					
60	回線	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線、専用線
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	ユーザ接続回線については事業者が追う責任範囲はありません。
61		推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	無し
62		推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	端末、OSに縛りはなく、IE11・Chrome・Safariが動作する環境を推奨
			利用するブラウザの種類	必須	IE11、Google Chrome、Safariの最新バージョン
63		ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有り
64		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	有り(オプション対応) ※サーバ基盤については本サービスで利用しているNTTコミュニケーションズ社にてDDos対策等を実施

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号: 0217-1807, サービス名称: HOTクラウド, 事業者名称: 北都システム株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
65	セキュリティ	ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	監視対象外(責任範囲外のインターネット回線のため)
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	有り
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	ID・パスワードによる認証
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	有り
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須	有り SSLサーバ証明書、ID・パスワードによる利用者の認証(標準機能) IPアドレス制限、クライアント証明認証(オプション)
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択	
- ハウジング(サーバ設置場所)					
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須	DC-1、DC-2とも専用建物
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例: 関東、東北))	必須	DC-1、DC-2とも日本(関東、関西)
73		耐震・免震構造	耐震数値		必須
	免震構造や制震構造の有無			DC-1: 耐震構造または制震構造 DC-2: マイクロソフト社のMicrosoft Azureでは当該項目情報が非公開となっているため、内容を特定できない	
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須	DC-1: 有り(バッテリー保持時間: 10分以上) DC-2: 有り※バッテリー保持時間についてはマイクロソフト社のMicrosoft Azureでは当該項目情報が非公開となっているため、内容を特定できない
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須	DC-1、DC-2とも確保有
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須	DC-1: 有り(連続稼働時間: 9時間以上) DC-2: 有り※連続稼働時間についてはマイクロソフト社のMicrosoft Azureでは当該項目情報が非公開となっているため、内容を特定できない
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須	DC-1、DC-2とも有り(ガス系消火設備)
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須	DC-1、DC-2とも有り
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須	DC-1、DC-2とも有り
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須	DC-1: 有り(最大対応電圧は非公開) DC-2: マイクロソフト社のMicrosoft Azureでは当該項目情報が非公開となっているため、内容を特定できない

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0217-1807, サービス名称: HOTクラウド, 事業者名称: 北都システム株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択 DC-1、DC-2ともコンピュータ室専用の空調設備	
82	セキュリティ	入退館管理等	入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間	必須 DC-1: 有り(保存期間: 2年間) DC-2: 有り※保存期間についてはマイクロソフト社のMicrosoft Azureでは当該項目情報が非公開となっているため、内容を特定できない	
			監視カメラの有無と、カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		DC-1: 有り(カメラ稼働時間: 24時間365日、監視範囲: 被写体動作時、保存期間: 90日) DC-2: マイクロソフト社のMicrosoft Azureでは当該項目情報が非公開となっているため、内容を特定できない
			個人認証システムの有無		DC-1、DC-2とも有り
83	セキュリティ	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須 DC-1、DC-2とも不明 ※本サービスで利用しているNTTコミュニケーションズ社およびマイクロソフト社のクラウドサービスでは当該項目情報が非公開となっているため、内容を特定できない	
			保管管理手順書の有無		DC-1、DC-2とも不明 ※本サービスで利用しているNTTコミュニケーションズ社およびマイクロソフト社のクラウドサービスでは当該項目情報が非公開となっているため、内容を特定できない
84	セキュリティ	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択		
- サービスサポート					
85	サービス窓口(苦情受付)	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○ Web: https://hscproduct.com/tenpo/contact/ 電子メール: sales@hscnet.co.jp 電話: 011-896-4391	
			代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86	サービス窓口(苦情受付)	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須 土日祝日および当社休業日を除く 9時~18時	
			メンテナンス実施時間		窓口対応に特別なシステムは使用していないため、メンテナンスは発生しない
87	サービス窓口(苦情受付)	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)	選択	
			放棄率の実績値(単位: %)		
			応答時間遵守率の実績値(単位: %)		
			基準時間完了率の実績値(単位: %)		
88	サービス窓口(苦情受付)	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須 全般的なお問い合わせをサポート(デモサイトお申し込み、操作方法、トラブル対応など)	
			サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、メール
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須 HA機能(高可用性) ※本サービスで利用しているNTTコミュニケーションズ社のクラウドサービスにて提供	
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無、有る場合はその文書名称	必須 有り HOT Series for SaaS 利用規約	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号: 0217-1807, サービス名称: HOTクラウド, 事業者名称: 北都システム株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	2週間前
		告知方法		電子メール
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有り
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。